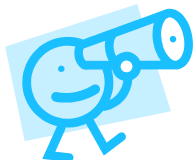


調査事例紹介：その32

石碑と原爆ドーム



豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。

そのうちの一部をご紹介します。

Q. 豊中市内の石碑を調べるにはどんな資料があるか？

A. 下記資料の所蔵がある。

『豊中の碑』（鹿島 友治）

『豊中の史跡たすね描き』（豊中市立教育研究所）

『ふるさと豊中の石碑 採拓巡り』（豊中上野拓本クラブ）

『とよなかの史跡巡り』（瀧 健三）

『とよなか歴史・文化財ガイドブック』（豊中市教育委員会）

Q. 原爆ドームの解説が載っている本で、英語で書かれたものを探している。

A. 『英語で伝えたい日本の世界遺産』（ジャパントイムズ社）に、原爆ドームの説明のほか、平和記念公園・平和記念資料館についても英文を併記した説明がある。

『英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産』（三修社）に、原爆ドームについての英文を含む解説があり。

『決定版 広島原爆写真集』（勉誠出版）英文キャプションつき写真集。旧広島県産業奨励館（原爆ドーム）の1945年秋ごろの写真も数点載っている。

この事例について詳しく知りたい方は、豊中市立図書館のサイトの「レファレンス事例をさがす」のページから、フリーワード「豊中の石碑」、「原爆ドーム」で検索してみてください。